

これは
千代田区の
情報です

専修大学学長

佐々木重人さん × 小林たかや

たかや通信30号 令和5年1月

直撃インタビュー
第3回

佐々木重人(ささきしげと) 専修大学学長 博士(経営学)1978年専修大学商学部会計学科卒業。
同大学院を経て、88年商学部助教授、95年同教授、2013年商学部長。16年より学長。
専門は会計史で著書に「近代イギリス鉄道会計史—ロンドン・
ノースウェスタン鉄道会社を中心に—」(2010年、国元書房)他。

少年の頃、ラジオを作るため神保町と秋葉原を訪れたのが
千代田区とのなれそめという専修大学佐々木学長。
区と共に取り組む、まちづくりについてお話をうかがいました。

放課後、学生たちが過ごせるまちづくりを

小林: 神田キャンパスが設立されてから 138年となります。今後、まちはどのように関わっていききたいですか？

佐々木: これからもつながりを深め、まちがまるごとキャンパスとなるような地域密着型の大学づくりを進めたいと考えています。「神田神保町カルチェ・ラタン」構想というようなですね。例えば、講義の一環として学生が老舗店へうかがい、学んだ内容を SNS にアップしていますが、このような関係を広げたいです。ほかには、まちの緑化推進について小林議員に相談したこともあります。中央分離帯に桜を植えることは叶いませんでしたが、歩道の花壇に花を植えることはでき育っています。

小林: 専大が中心となった、まちづくりですね。私もまちのブランド力向上が大切だと常々考えています。靖国神社からの桜並木を専大前までのばしたのもその一環です。また日本橋川や神田川の浄化を進め、川沿いにカフェをつくるの願いをしています。学生たちがもっとまちのカフェや居酒屋で過ごしてくれば、まちは今よりも元気になります！

防災から人々を守るために

小林: 防災についても重要な課題ですので、考えていきたいです。

佐々木: 専大は「災害救援ボランティア講座」修了者累計数が2年連続全国1位なのです。防災サークルもあり、AED などの使用訓練を地域の人々と共に行っています。また、靖国通

りの新校舎にできた「専大カフェ (SENDAI-Kaffee)」は誰でも利用可能で、有事の際は区民の皆さんのお役に立つような活用方法も考えています。

小林: 町内会のイベントへの参加や、消防団に所属して下さっている学生も多いですね。

大学という団体が、地域との関わりを持つのは素晴らしいことです。区としても道幅を広くして避難経路を確保したり、川の近くに広場を作り、船着き場を整備して日ごろから活用するなど、有事の際きちんと機能する対策への取り組みが必要です。

これからの千代田区への願い

小林: 神田神保町カルチェ・ラタンへの展望を教えてください。

佐々木: 学生が、課外活動を盛んに行える環境を整えたいです。もし区の施設をお借りできれば、さらに学生がまちを利用しながら学ぶことができるのではないかと思います。

小林: なるほど。九段下の再開発があり、区民が利用できる施設を建設したいと考えています。これからも専大の学生たちには地域との繋がりを強く持ち続け、千代田区を活気づけてほしいと思います。

★カルチェ・ラタンとは：パリのセーヌ川左岸の区域。ソルボンヌ大学などがあり学生が多いまちとして有名。

たかやFAX 03-3253-9877

小林たかや後援会事務局
〒101-0021
千代田区外神田3-6-5
小林たかや
www.takaya-k.com



ホームページとSNSへ



新校舎前の歩道脇にある花壇。
小林議員と共に都へ申請し、
管理権限を受託した。

目ざせ！
神保町 神田
カルチェ・ラタン



「お祭りに参加した専大生が、卒業後もお祭りには帰ってくるんですね」

